



その気持ち 誰かを笑顔に させる種

[2019年度「児童福祉週間標語」最優秀作品 吉村 唯さん(14歳) 山口県]



情報通信機器等の取扱いにかかわる提言

2月27日(木)、本年度第3回の市いじめ対策委員会を開催しました。各ブロックからの報告や協議の中で、「ネットトラブル」や「ゲーム依存」への対応が、緊急の課題となっていることが取り上げられました。各学校やブロックでは、インターネットの正しい利用やゲーム依存にならないために、児童生徒への情報モラル教育を行ったり、保護者を対象にした研修会を開催したりして、理解・啓発に努めています。

そこで今回、市いじめ対策委員会においても、以下の「情報通信機器等の取扱いにかかわる提言～ネット社会を生きる子どもたちのために～」を示し、取組を広げていくことを確認しました。

情報通信機器等の取扱いにかかわる提言

ネット社会を生きる子どもたちのために

1 リアル社会の中で、友達や家族と楽しく充実した生活を送らしましょう。

- 家庭や地域、学校で、進んであいさつをしよう。
- 家族の団らん、友達との交流を大切にしよう。
- 夢中になること、打ち込めることを見付けよう。



子どもたちをネットやゲーム等依存から守るためには、日常生活の中に、居場所や活躍できる場を作ることが大切です。そのためには、八幡浜市で力を入れて取り組んできた「あいさつ運動」を一層進め、家族や友人とのふれあい等を豊かにしていくことが望まれます。

2 規則正しい生活をさせましょう。

- 「早寝早起き朝ごはん」で、規則正しい生活習慣を身に付けよう。
- 情報通信機器やゲーム機の利用は午後9時までには終わらせよう。

インターネットやゲーム機への依存傾向が強い子どもたちの中には、昼夜逆転や睡眠不足によって、学校や家庭生活に悪影響が出ているケースもあります。そこで、規則正しい生活習慣を徹底させることが大切です。平成26年度末に、八幡浜市いじめ対策委員会において、情報通信機器の利用は午後9時までにするを提言しました。この提言を再確認し、徹底していくことが求められます。

3 情報通信機器・ゲーム機利用のための「家庭のルール」を作しましょう。

- 情報通信機器やゲーム機を利用する場合は、時間の上限や使用場所を決めよう。
※ ルールづくりのポイントとして、守れなかったらどうするかということを家族で相談しましょう。
- ※ 「ノーゲーム・デー」や「ノーネット・デー」を決めて実行しましょう。
- フィルタリング、ペアレンタルコントロールを設定しよう。
※ ペアレンタルコントロールとは、保護者が子どもの利用状況を把握したり安全管理を行ったりすることができる機能のことです。
- 困った問題が起きたら、すぐに大人や関係機関に相談しよう。

今年度実施した調査において、大半の家庭ではルールを作っているものの、そのルールが1～2個しかないことが分かりました。子どもとしっかり相談して、家庭や子どもの実態に合ったルールを決めることや、ペアレンタルコントロールを設定して利用することが求められます。また、ブロックいじめ対策委員会の協議において、「ノー○○・デー」の取組が効果的であるとの報告もあります。特に、被害にあった時に迅速に対応できるよう、平日頃から気軽に相談できる関係を作っておくことも求められます。

令和元年度の主な活動

【八幡浜市いじめ対策委員会】

- 第1回 6月28日(金) 役員選出、活動方針及び計画の決定
- 第2回 11月26日(火) ブロック活動経過報告、情報交換
- 第3回 2月27日(木) 今年度の成果と次年度への志向

【校内及びブロックいじめ対策委員会】

- 校内 年3回実施(17小・中学校)
- ブロック 年3回実施(5中学校区)



【あいさつ運動強調旬間】

- 9月1日(日)～10日(火) 八幡浜市内各地域で展開

【「いじめ根絶」運動標語】

- 10月1日～10月18日 募集(小学生5・6年～中学生)
- 優秀5点、優良19点、入選33点を選考し、表彰
- 12月1日～12月20日
- 優秀作品の横断幕を市内各所(綱・矢野・納所)に掲出

【きりんカフェ(登校しづらいお子さんを持つ保護者の会)】

- 5回開設 5月31日(金) 7月26日(金) 9月13日(金)
- 11月22日(金) 2月28日(金)
- ※11月は「おおずふれあいスクール」との情報交換

【いじめ問題等に関するアンケート調査】

- 9月 仲間づくり・学校生活アンケート(児童生徒対象)
- 11月 いじめ問題対策アンケート(保護者・教職員対象)
- 通信機器の利用に関する実態調査(保護者対象)

【さるびあ通信】年3回発行(7・12・3月)

- 八幡浜市内小・中学校全家庭、教職員、関係諸機関、市・ブロックいじめ対策委員へ配付

【広報「やわたはま」】

- 広報9～3月号の「つなぐ・つながる」欄に掲載
- 9月号 松柏中学校 地域に支えられて
- 10月号 双岩小学校 保・小連携で育つ双岩っ子
- 11月号 松蔭小学校 つながりの中で
- 12月号 川上小学校 地域の宝を受け継ぐ
- 1月号 白浜小学校 「心・愛顔・学び」をつなぐ
- 2月号 神山小学校 つながれ 広がれ
- 3月号 真穴中学校 地域とともにある真穴中学校

ひとりで悩んでいませんか？

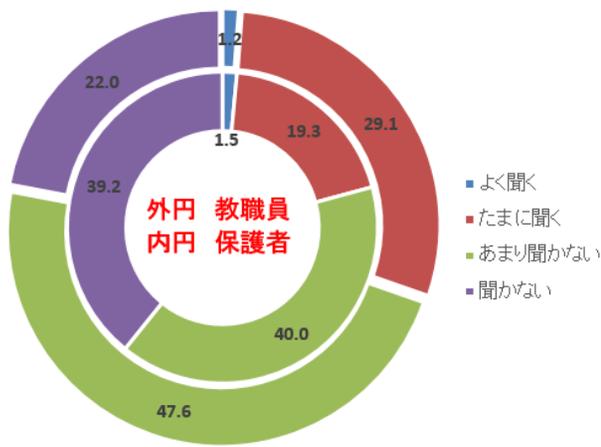
お気軽にご相談ください。

- ☆ 電話相談・来室相談(八幡浜市教育委員会教育支援室)
☎ 0894-21-6864 月～金 8:30～17:00
- ☆ いじめ110番(八幡浜市教育委員会教育支援室)
☎ 0120-805-415 月～金 8:30～17:00
- ☆ 警察安全相談(八幡浜警察署)
☎ 0894-22-0110 24時間受付
- ☆ いじめ相談ダイヤル24(愛媛県教育委員会)
☎ 0120-0-78310 24時間受付
- ☆ こどもの人権110番(法務局)
☎ 0120-007-110 月～金 8:30～17:15
- ☆ 児童相談所全国共通ダイヤル[虐待通告・相談](厚生労働省)
☎ 189(いちばん) 児童虐待通報電話 24時間受付

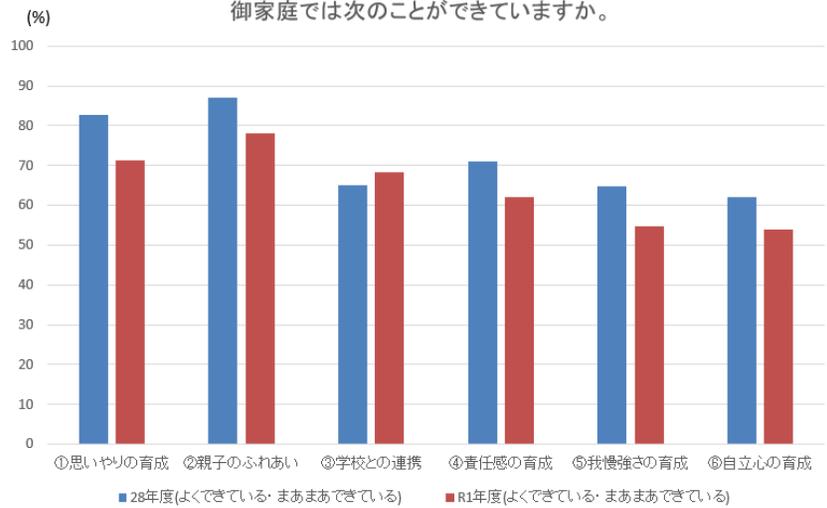
令和元年度 いじめ問題等の対策に関する調査（保護者・教職員対象） 及びインターネット等に関する調査（小学校4年生以上の児童生徒対象）から

八幡浜市いじめ対策委員会では、いじめ問題の解消・児童生徒の健全育成を図るため、11月から12月にかけて、市内の保護者や教職員を対象としたアンケート調査を実施しました。また、愛媛県教育委員会においても、児童生徒を対象としたインターネットに関する調査が実施されました。これらの結果から、保護者や学校、地域の皆様と共に、今後のいじめ対策やネットやゲーム等の扱い方について、よりよい方向性を探っていきたいと思います。

子どもから「いじめ」の話を聞くことがありますか。

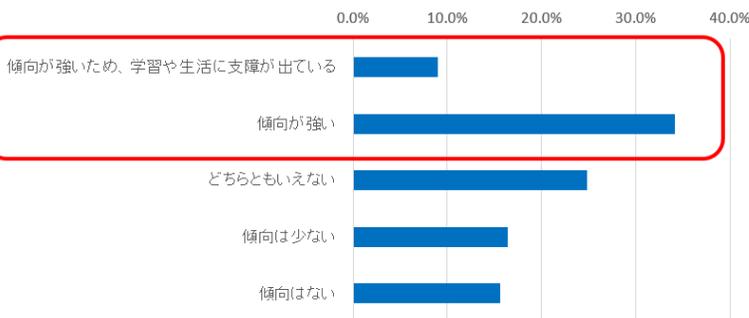


御家庭では次のことができていますか。

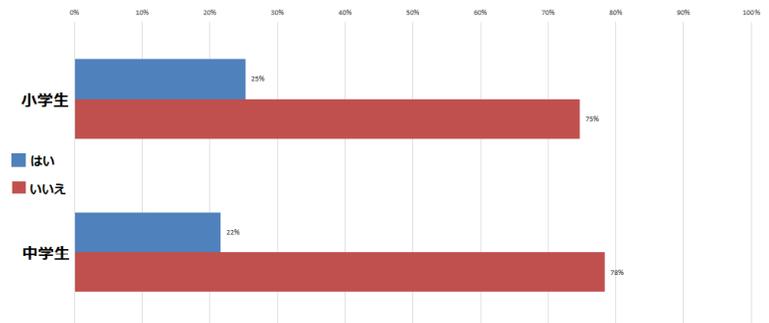


- 子どもから、「いじめの話聞くことがある」という保護者は20%、教職員は30%ほどいます。この割合は、3年前に比べると、保護者、教職員ともに増えています（保護者6%、教職員16%の増）。いじめの認知に対する意識が高くなってきた現れであると思われます。保護者や教職員は、子どもたちにとって大切な相談相手です。子どもたちからの悩みの相談を丁寧に受け止めていくことが大切です。
- 家庭教育の取組については、3年前と比べると肯定的な評価が低くなっています。その中において、学校との連携を重視している保護者は増加傾向にあります。一方で、家庭の中で「思いやりの心」を育てたり、「親子のふれあい」を高めたりするという割合が大きく減少しており、親子関係が希薄になっていないかが懸念されます。

ゲームやスマホに依存する傾向が強いのか (保護者を対象とした調査)

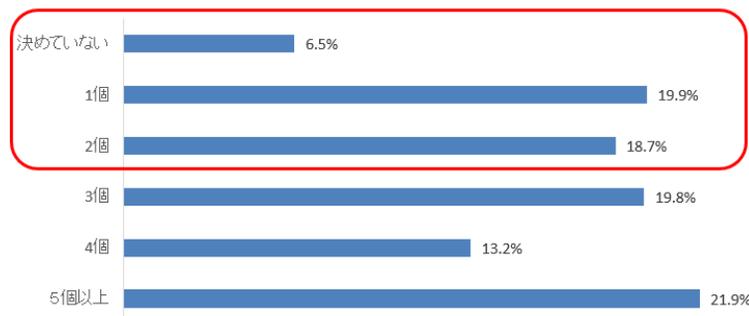


ゲームをやめなければならないときに、やめられないことがよくありますか。 (小学校4年生以上を対象とした調査)

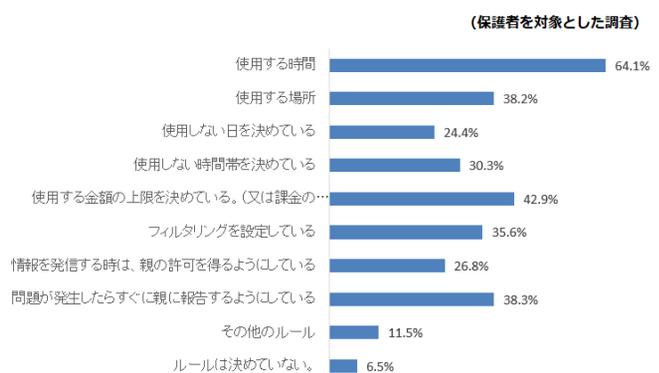


近年、社会問題化しているゲーム機やスマホ等への依存に関わる調査を行いました。日々の子どもの様子から、ゲームやスマホへの依存傾向が強いと回答した保護者が約40%にも上りました。また、「ゲームをやめられないことがよくある」と回答した児童生徒（小学生25%、中学生22%）が多いという現状にもあります。

家庭で決めているルールの数 (保護者を対象とした調査)



通信機器等の利用にかかわる家庭のルール (保護者を対象とした調査)



子どもたちをネットやゲームの被害者にさせないように、そして、子どもたちに情報社会を生き抜いていく力を身に付けさせるために、スマホやゲーム機の利用については、家庭のルールを適切に定めて躰をしていくことが求められています。しかし、約40%の家庭では、そのルール数が2個以下であるという実態でした。利用時間や利用場所、利用しない時間帯、フィルタリングやペアレンタルコントロール、ゲーム課金、問題発生時の対応、情報発信時のルール…等、それぞれの家庭や子どもの実態に応じたルールを親子でしっかり相談して決めた上で、それを守らせていくことが大切です。